

夏の、はじまりの、空/勝田俊哉

w/m：勝田俊哉

< 曲紹介 >

高校野球での最後の夏は、夏の甲子園大会ですが、その予選は7月までに行われるため、各都道府県の代表校以外は7月中、季節的には夏はこれからという時に、最後の夏が終わってしまいます。試合に敗れた翌日に夏が始まる…そんな風景を歌った曲です。

ひまわりが咲いていた 学校からの帰り道

今まで気づかずに過ごしてた

知らない道を 歩いているみたいだ

昨日つゆがあけたと 君は笑いながら言った

夏休み海を見に行きたい はずむような声でした

バットが空をきった瞬間 僕たちの夏は終わった

グラウンド 見上げた空に

つゆの雲が 少し 動いた

あの時僕が見たのは 夏の、はじまりの、空

もう少しで夏休みと はしゃぐ君に日差しは注ぐ

手が届きそうな白い雲が 青空を背に流れた

新しい季節はじまることを 僕たちに告げていた

あの時僕が見たのは 夏の、はじまりの、空

やめないよね そう言ったの？

胸の奥で ボールがはずむ

気がつけば夏の景色が 目の前に広がって

新しい季節はじまることに 僕は今気がついた

昨日つゆがあけたと 君は笑いながら言った

日焼け止め 得意気に見せる君は

夏の陽に照らされて

夏休み海を見に行きたい 僕に言う声でした